

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム奏幡豆

作成日: 令和6年3月15日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	新人職員が多く、職員目線での業務が行われる事があり、入居者様目線にシフトチェンジできるように認知症の方の理解や知識の習得が必要。	得た知識を現場で試し、入居者様目線で業務が行えるようにしていく。	職員の資格取得をすすめていき、入居者様と話す時間を作り、会話や表情から入居者様の気持ちを推測してもらおう。その内容を会議にて話しあいを行い、入居者様の事を考える時間を増やしていく。	12ヶ月
2	34	管理者不在時の緊急時の対応や事故後の適切な対応が難しいと思われる。	緊急搬送やご家族様連絡対応がスムーズに行えるようになる。	ご家族様の連絡などをしてもらい、ご家族様とのコミュニケーションを照れるようにしていき、ご家族様の要望などが確認できるようにしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。